

日建協（日本建設産業職員労働組合協議会）とは

資料 1

1. 日建協組織概要

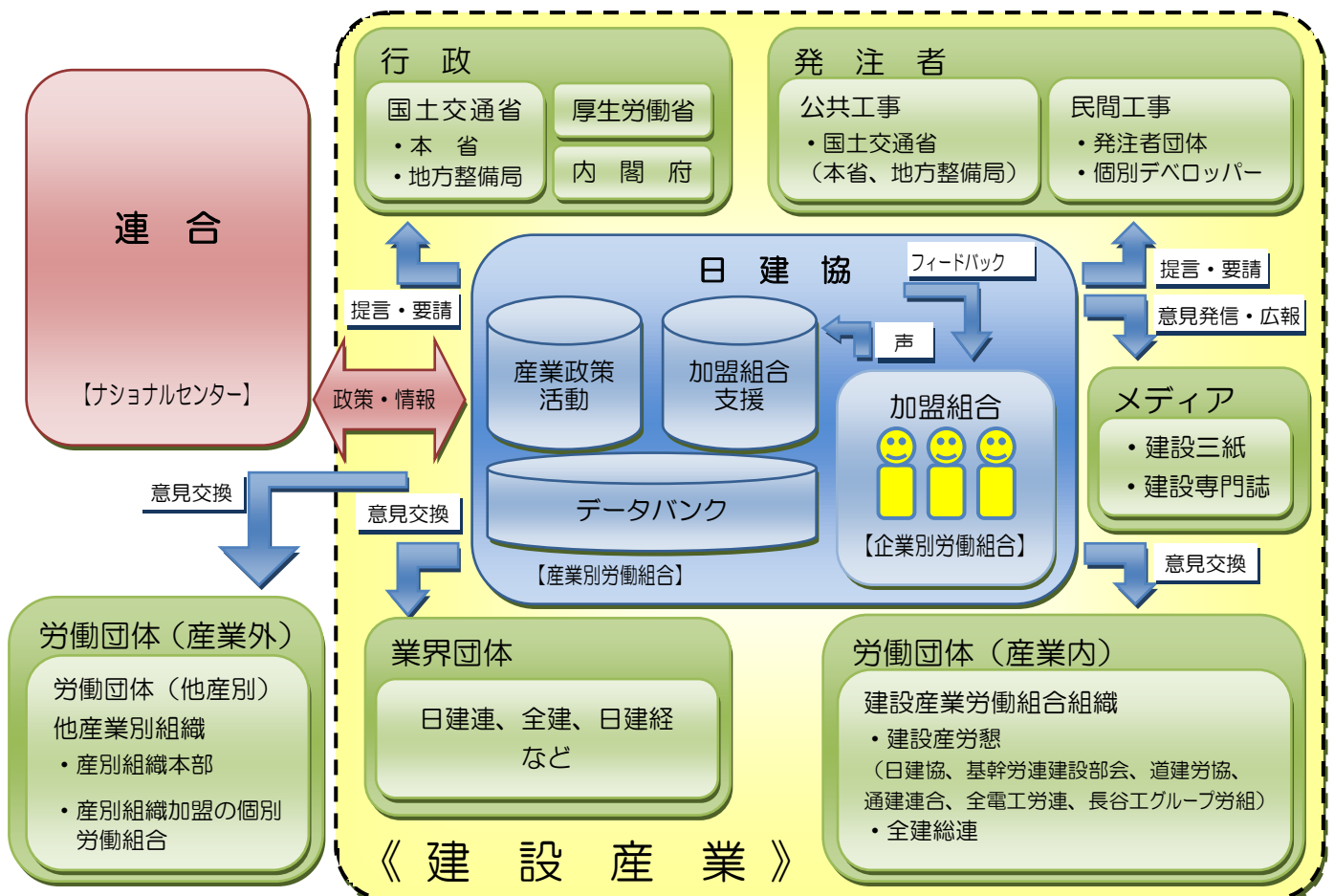
日建協は、建設産業の魅力化と建設産業に携わる労働者の社会的、経済的地位の向上をめざし、1954 年 12 月に結成された組織です。

現在 36 の加盟組合 約 31,000 人の組合員で構成された、建設産業のホワイトカラー層最大の産業別組織として、単独の企業別組合では取り組めない、建設産業に働く私たちの労働条件の向上にむけた活動を行っています。

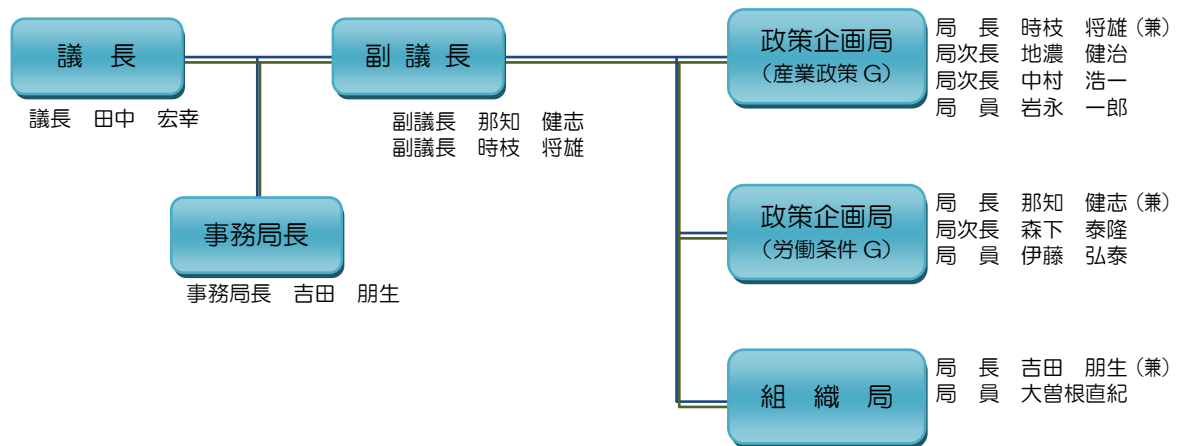
加盟組合一覧

青木あすなろ建設職員組合	大日本土木労働組合	野村労働組合
浅沼組職員組合	大豊建設労働組合	ピーエス三菱労働組合
安藤・間職員組合	大和小田急建設労働組合	藤木工務店労働組合
奥村組職員組合	鉄建建設職員組合	フジタ職員組合
鴻池組労働組合	東鉄工業労働組合	松村組職員組合
五洋建設労働組合	東洋建設職員労働組合	馬淵建設職員組合
佐藤工業職員組合	戸田建設職員組合	丸彦渡辺建設職員組合
佐藤秀労働組合	飛島建設労働組合	三井住友建設社員組合
シミズユニオン	中山組職員労働組合	宮地建設工業労働組合
鈴与三和グループ労働組合	西松建設職員組合	名工建設職員組合
銭高組労働組合	日本国土開発コミュニケーション協議会	横河工事労働組合
大鉄工業労働組合	日本総合住生活労働組合	りんかい日産建設職員組合

2. 日建協の活動と役割



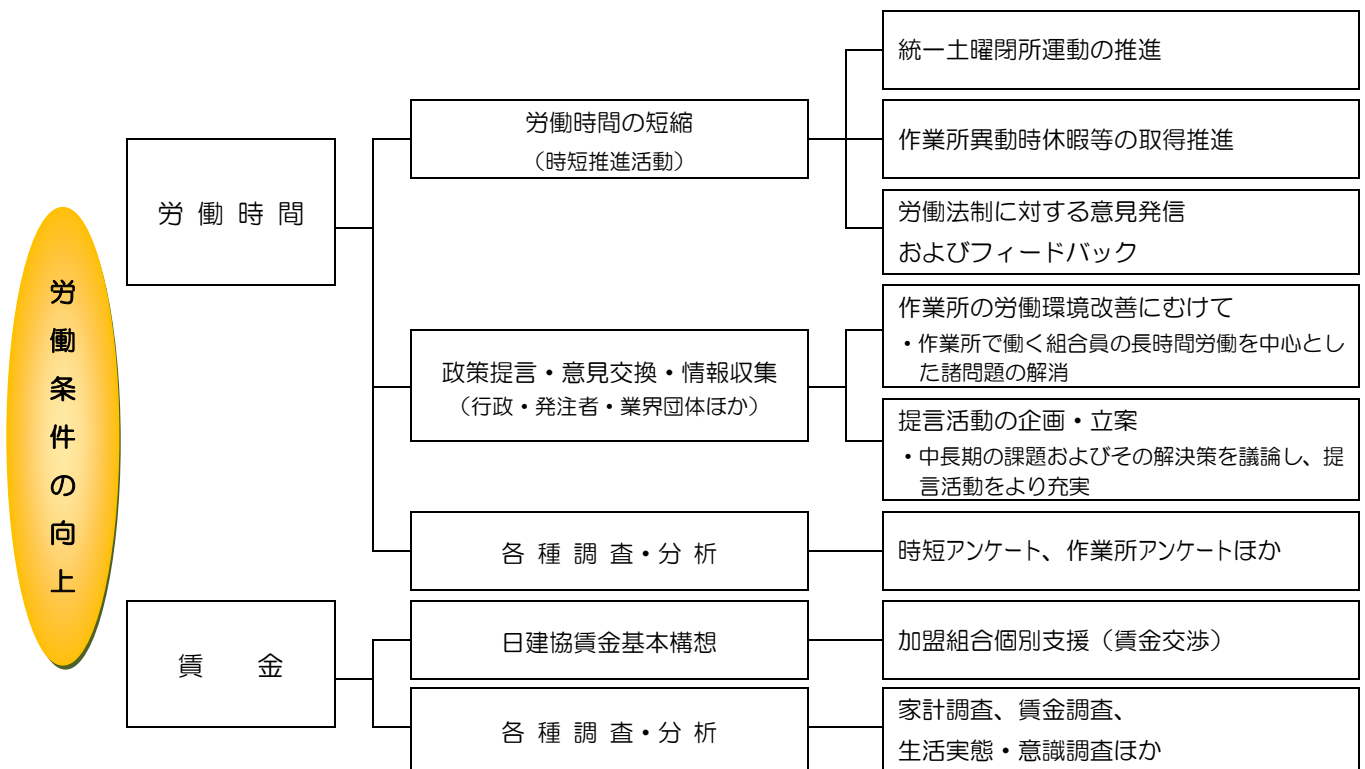
3. 日建協執行部の組織体制



4. 日建協の主な活動

(1) 労働条件の向上

◆問題点……長時間労働、賃金低水準、短工期受発注、商習慣的な片務体質



(2) 産業としての魅力化

◆問題点……入職希望者が増えない現状、離職者が減らない現状、産業の良くないイメージ

